

ハンナ・アーレント

(東北アーレント研究会)

第12回研究会開催のご案内

2023年春、三年にわたる休眠から目覚めた「東北アーレント研究会」(通称：ハンナ・アーレント)ですが、今夏の猛暑を乗り越えた初秋に、下記の要領で第12回研究会を開催する運びとなりました。今回は三人の発表者の競演、豪華三本立てです。皆様、お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

記

日時：2023年9月9日(土) 13:00-17:30

場所：東北大学青葉山キャンパス 情報科学研究科 2階中講義室

(仙台市営地下鉄東西線青葉山駅下車。北1番出口を出て、右手沿いに道を進み、道沿いすぐに見える8階建ての建物が、情報科学研究科棟です)

<https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/introduction/access.html>

プログラム：

13:00-14:15 研究発表①

澤田哲生氏(東北大学准教授)

「メルロ＝ポンティとアーレント：幼年期をめぐって」(仮題)

14:20-15:35 研究発表②

田端健人氏(宮城教育大学教授)

「仏道としての現象学：般若心経入門」(仮題)

15:40-17:30 研究発表③

嶋崎史崇氏(MLA+研究所研究員)

「『情報災害』と『思想』の視点から問い直すコロナワクチン禍——特にハイデガー、アーレント、イリイチに学びつつ」(仮題、嶋崎史崇著『ウクライナ・コロナワクチン報道にみるメディア危機』本の泉社、2023年6月、より)

*研究会終了後、場所を移して18:30から夕食会を開く予定です。

*研究会は参加自由ですが、夕食会に参加をご希望の方は、森一郎(mori882157@gmail.com)までお早めに(なるべく8月15日頃までに)ご連絡ください。